

沙流川平取地区水害タイムライン

第4回検討会 開催概要

平成28年7月22日(金)に平取町で「沙流川平取地区水害タイムライン第4回検討会」を開催しました。

「タイムライン」は「事前防災行動計画」とも呼ばれ、本検討会では、沙流川平取地区で水害が発生する可能性がある際に、早い段階から関係機関が連携し、状況に合わせて防災行動をとるための検討を行っています。

第4回検討会は、第3回検討会后に各参加機関に確認・精査して回答頂いた意見を反映したタイムライン一次案をもとに、各行動項目・細目の文言・行動主体機関・支援機関の確認・共有を目的として「読み合わせ」形式で検討を行いました。参加機関同士で行動方法やタイミングの確認が行われた一方で、タイムラインの記載様式や前提とする意思決定過程の確認などへの意見が多数あり、多くの行動項目の確認は第5回に持ち越しとなりました。



【実施日時】 平成28年7月22日(金) 13:30~17:00

【実施場所】 平取町中央公民館 大ホール

【参加者】 沙流川流域の防災関係機関 15機関 56名

※座長・副座長・アドバイザー、オブザーバー、事務局機関を含む

開会挨拶

事務局・開催地を代表し平取町の川上町長から開会挨拶がありました。6月の西日本の豪雨、関東地方の渇水、台風の少なさなど予想しづらい国内の気象状況の中、急激な気象変化によって発生しうる災害に対応していかななくてはならない、そして、そのような気象災害に対して、平取町ではタイムラインを事前の備えに活用していくべく、多くの機関にお集まりいただき、防災対応を共有していることは大変意義深く感じているとお話されました。



ワークショップ

松尾座長の挨拶に続き、第3回及びその後に関係機関から頂いた確認・意見を反映したタイムライン一次案をもとに、各行動項目・細目の文言・行動主体機関・支援機関の確認・共有するワークショップを行いました。

全体ファシリテーターがタイムラインの立ち上げ時から一つ一つ行動細目を読み上げ、主体的に行動する機関と支援行動を行う機関を確認していきました。参加機関同士で確認が必要な点の質疑応答が行われたほか、特に他の機関と連携が必要な項目や情報のやりとりが不明確な項目は、主体機関から説明を頂くなど、各防災行動の段階で関係機関同士の動きを把握できるよう共有を図りました。

質疑応答では、これまであまり連携がなかった点について新たに情報共有を行うことが確認されたほか、タイムライン立ち上げの方法や各段階の移行判断の方法、タイムライン表の整理の方針などに関して多数の質問が挙がり、アドバイザーを交えた活発な意見交換となりました。



次回(第5回検討会;9月予定)は今回に引き続き、残された行動細目の確認・共有作業を行い、沙流川平取地区水害タイムライン案としてとりまとめた上で、10月にはそのタイムライン案を活用して、実際に特定の災害シナリオの条件下での試行運用を机上で行い、タイムラインの円滑な運用に向けた確認・調整を行う予定です。

